

講義名	国際会計論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	井上 定子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	43097

主題と概要

経済・経営活動の国際化の進捗が顕著な現代において、グローバル・スタンダードへの対応は企業活動にとって大変重要な意味をもっています。本講義ではグローバル環境下における会計の役割を理解することに主眼をおき、学習を進めていきます。
具体的には、国際会計基準を取り上げ、その設立経緯および概要、そしてその適用に関する国際的動向（日本も含める）について説明していきます。

到達目標

- ・なぜ国際会計基準の設置が要請されるのか？
- ・その背景および意義を踏まえ、国際会計基準が世界標準として適用されている現在、なぜ日本はいまだに任意適用であるのか？

以上の理由について理解することが本講義の目標です。

提出課題

学習事項の理解度を把握するために、講義中に数回ミニテストと中間試験（2回実施）を行います。
なお、ミニテストおよび中間試験の受験は実施当日しか認めませんので、注意して下さい。

評価の基準

- ・中間試験（60％）：授業内容の理解度を確保するための演習問題
- ・定期試験（30％）：授業内容の理解度を確保するための演習問題
- ・授業への貢献度（10％）：参加意欲、発言など

以上の3項目を加味して評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

注意点
配布資料は毎回持参のこと
私語厳禁（他の履修者の邪魔になります）

助言
本講義は簿記や会計の応用科目となります。そのため、会計の基礎科目である「会計学原理」「財務会計」などの講義を履修済みまたは履修中であることが望ましいと考えます。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

教科書は使用しません。その代わりに、ほぼ毎回、講義中にプリント資料を配布します。
なお、配布は講義中にのみ行い、講義後は配布いたしませんので注意して下さい。

参考文献は適宜、講義中に紹介します。

授業計画

1. 財務会計の基礎（1）：財務諸表の仕組み - 資産 -
 2. 財務会計の基礎（1）：財務諸表の仕組み - 負債・純資産 -
 3. 財務会計の基礎（2）：財務会計の役割
 4. 財務会計の国際的視点（1）
 5. 財務会計の国際的視点（2）
 6. 財務報告の国際化
 7. 第1回中間試験
 8. 会計基準の国際的調和化をめぐる動向（1）
 9. 会計基準の国際的調和化をめぐる動向（2）
 10. 国際会計基準委員会による調和化
 11. 国際会計基準審議会
 12. 国際会計基準の導入に関する日本の対応（1） - 歴史的経緯 -
 13. 国際会計基準の導入に関する日本の対応（2） - 現状 -
 14. 国際会計基準の導入に関する日本の対応（3） - 課題 -
 15. 第2回中間試験
- * 講義の進捗度により上記の計画が前後する場合があります。

予習・復習

復習を中心とした学習を行っていただくことが重要です。
講義中に、講義内容の理解を確認するためにミニテストを実施することがあります。このテストを自身の理解度を確保する目安にしてください。そして、このミニテストでわからないことは、必ず当日あるいは次回の講義までに質問を行い、自身の疑問点を解決するように努めてください。このような復習の積み重ねが講義全体の理解につながります。また、2回実施します中間試験および定期試験の試験対策としても、毎回の講義内容についての理解の積み重ね（復習）が有効で

備考